

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	卒業：必修 保育士：必修 幼二免：必修
担当教員			
川原 ゆかり			

講義概要	①教育制度の歴史について理解する 保育制度の歴史を知る 今日の幼児教育制度の直面する課題について見識を高める ②社会的隔離児の実態と保育を考える 子どもの発達についての基礎的捉え方を学ぶ 子どもの教育とは何かについて考える ③幼稚園・保育所・認定こども園の違いについて理解を深める 幼稚園教育要領や保育所保育指針について見識を高める 児童福祉制度と保育について学ぶ ④特別支援教育の背景 特別支援教育の目ざすもの 軽度発達障害児の支援と幼児教育施設の役割 ⑤子育て支援の現状と課題を知る 児童虐待と家族支援について理解を深める 求められる保育者像について考察する
------	---

授業計画	<p>1 この講義のねらいと動機づけ 自己紹介レポート（私と家族 私の幼少期・目指す保育者像）</p> <p>2 社会的隔離児 子どもの発達の原点・基礎・原則など</p> <p>3 子どもの発達理解Ⅰ 「奇跡の人」に見る子どもの発達</p> <p>4 子どもの発達理解Ⅱ 「アヴェロンの野生児」に見る子どもの発達</p> <p>5 保育制度について 保育所・幼稚園・認定こども園について</p> <p>6 保育とは？ 保育所保育指針の目ざすもの・幼稚園教育要領の目ざすもの</p> <p>7 子どもと環境について 子どもの保育と養育環境（家庭・保育施設）について</p> <p>8 子どもの発達理解 被虐待児への対応と親支援</p> <p>9 特別支援教育について 軽度発達障害児の理解と指導</p> <p>10 保育形態 さまざまな保育形態について見識を深める</p> <p>11 子育て支援Ⅰ 子育て支援の考え方とその背景</p> <p>12 子育て支援Ⅱ 子育て支援の現状と今後の課題</p> <p>13 外国人の子どもの保育 保育の国際化・外国人の保育の現状と課題</p> <p>14 保育の歴史を知る 欧米の保育の歴史・日本における保育の歴史</p> <p>15 望まれる保育者像を目ざして 求められる保育者の条件・資質について考える</p>
------	--

授業形態	講義
------	----

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育や教育の歴史を知り、現在の教育及び保育事情をつまびらかにする ②教育の理念や思想を学ぶ ③保育（教育）制度について学習する ④特別支援教育について研鑽する ⑤子育て支援について理解を深め、求められる保育者像を模索する。  授業レポート、授業の取り組み状況、筆記試験を総合しておこなう。 授業内レポート（20%）、授業の取り組み状況（20%）、筆記試験（60%）
--------------------	--

教科書・参考書	テキスト：『保育原理』 金村美千子 編著 同文書院 参考書：『新しい保育原理』 藤森 守・渡邊真一・鈴木みゆき 企画編集 樹村房
---------	---

履修条件	
------	--

履修上の注意	
--------	--

オフィスアワー	授業の前後で対応します。
---------	--------------

備考・メッセージ	レポートの読み方、まとめ方、書き方など物事の捉え方などを通し、考える力をのばす。  【準備学習（自主学習）】保育を取り巻く今日的な課題に興味を持ち、保育行政の知見を高めること。専門用語の意味等を理解しておくこと。
----------	--